

がん検診を受ける際の注意事項

◎胃がん検診

- ・前日の午後 8 時までには食事を済ませてください。
- ・当日は、検査開始 2 時間前まで 200 ml 以下の水、白湯のみ飲んでも問題ありません。(お茶やコーヒー、あめ・ガム・たばこは摂らないでください。)
- ・下記のいずれかに当てはまる方は胃 X 線検査を受けられません。
妊娠中・妊娠している可能性がある方、消化管の穿孔・閉塞またはその疑いがある方、3 日以上排便がない方、バリウムによるアレルギー症状の既往がある方、消化管手術から 1 年以内の方、腹部に医療機器装置を使用している方、インスリンポンプ・グルコースメーターを装着されている方
- ・胃 X 線検査後、バリウム便（白い便）が排泄されない場合や便秘・腹痛が続く場合は、すぐに医療機関を受診してください。
- ・普段からむせやすい方、高齢の方、極度に緊張している方、初めてバリウムを飲む方、呼吸器疾患のある方は、誤嚥に注意してください。

◎胃がんリスク層別化検診

- ・胃を切除した方やピロリ菌の除菌中及び除菌後の方、自覚症状がある方などは、正しく判断できないため、検査の対象外となります。

◎肺がん検診

- ・ボタンやプリントのない T シャツ、金属（ホック、ファスナー）、ゴムやパットなどの締め付けがない服装を準備してください。
- ・下記のいずれかに当てはまる方は胸部 X 線検査を受診できません。
妊娠中・妊娠している可能性がある方、インスリンポンプ・グルコースメーターを装着されている方、医療機器を使用している方（胸部 CT 撮影時）
- ・最近 6 カ月以内に血痰があった方は、医療機関を受診してください。

◎大腸がん検診

- ・便の採取方法や保存方法に関しては、キットに封入されている説明書をお読みください。
- ・生理中をさけて検体を採取してください。
- ・検体採取後は、冷暗所で保存してください。

◎乳がん検診

- ・40 歳未満の方は、有効性が認められていないため、マンモグラフィによる乳がん検診受診は推奨していません。(何を受ければ分からない場合は、乳房超音波を受診してください。)
- ・下記のいずれかに当てはまる方はマンモグラフィを受診できません。
妊娠中・妊娠している可能性がある方、授乳中の方、豊胸手術や美容目的の注射をした方、医療機器装置を使用している方、インスリンポンプ・グルコースメーターを装着されている方

・下記のいずれかに当てはまる方は超音波検査の受診を推奨しません。

妊娠中・妊娠している可能性がある方、授乳中の方、医療機器装置を使用している方

※現在、乳がんを含む乳腺疾患で、医療機関にて検査や治療等で通院中の方は検診の受診について事前に主治医にご確認ください

◎子宮頸がん検診

・妊娠中の方は検診ではなく、婦人科で妊婦健診を受けてください。

・性交渉の経験がない方は、医療機関での受診を推奨します。

・子宮を全摘出した方は、検診の対象外です。

・生理中の方は、受診を延期していただく場合があります。

・最近6カ月以内に不正出血、月経異常、褐色帯化などがあった場合は、医療機関を受診してください。

◎前立腺がん検診

・前立腺に疾患があり通院中の方は、検診の対象外です。